

【ヒアリング調査】医療と介護の連携：介護者調査（案）

（在宅医療と介護に関する介護者グループインタビュー）

1 調査目的

平成 29 年度に策定を予定している「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 7 期）」及び在宅医療と介護連携の施策検討に活用するため。

在宅で療養生活を送っている要支援・要介護認定者の在宅療養生活（退院等の経過、通院、在宅診療）の状況や医療との連携の考え方等を把握し、医療と介護の連携の方策などを検討する。

2 調査対象

要支援・要介護認定者のうち、在宅で療養生活を送っている第 1 号・第 2 号被保険者の介護者 10 人程度

3 抽出方法

介護保険サービス利用状況より該当すると思われる方（150 人程度）を抽出し、協力の依頼を送付したうち、ご協力いただけると返信をくれた方

4 調査方法

グループインタビュー方式 5 人×2 回

5 実施時期

11 月頃（会場は市役所会議室）

6 インタビュー項目

- ・在宅療養の状況（疾病、医療処置、訪問診療の状況、サービス利用の状況、認知症の有無）
- ・在宅療養で困っていること、苦労していること（あれば、その解決方策の案など）
- ・就労について（介護前、介護後、今後の希望）
- ・入退院支援の状況（病院、ケアマネジャーの対応、連携状況）
- ・在宅療養を継続するために必要なこと（必要なサービスや情報、あったらよいと思う支援など）
- ・必要な介護者支援
- ・介護事業者、医療機関、行政への意見
- ・在宅で療養してよかったと思うこと（例えば、本人が喜んだこと、苦痛が少なくなったなど）